

『DXにより価値ある未来を実現する』

当社は2028年に創業90周年を迎えます。

建設業界を取り巻く環境は大きな変化を迎えています。

この社会変化に即応し、より多くのお客様に永続的に

安全で付加価値の高い商品を提供していくためには、

デジタルの力を活用したDXの推進が不可欠です。

私たち大竹電機は、お客様に価値ある未来をお届けするために、

DX化を強力に押し進めてまいります。

『DX推進における基本方針』

<DXによる生産性の向上>

ICTツールの導入と積極的な利活用により、現場の業務効率を向上させ、生産性を高めます

<DXによる働き方改革>

生産性を高め、労働時間の短縮を図り、社員の余暇時間を増やします

<DX人材の創出・教育・育成>

DX化を加速させるため、デジタル人材育成に注力します

<DXによるグリーンITの取組み>

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、様々な省エネルギー機器をお客様へ提供し、グリーンITに取り組みます

大竹電機株式会社
代表取締役社長 大竹和彦

大竹電機 DX戦略

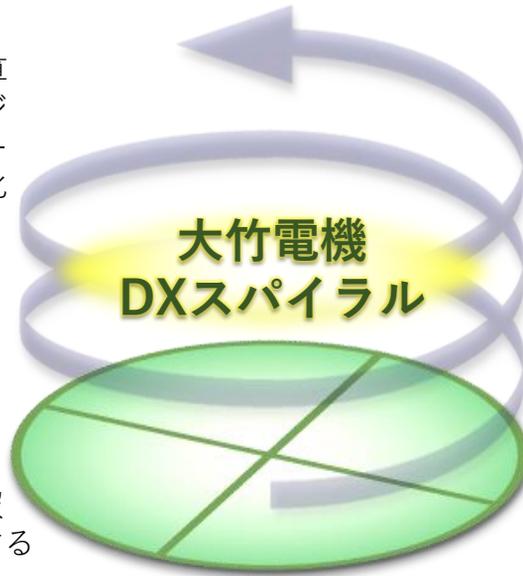
小さく始めて、大きく育てる「スパイラルアップ戦略」

① 情報のデジタル化

設計図、施工図面、積算情報などの紙媒体のデジタル化を進め、ペーパーレス化とワークフロー化を推進する

② データベース化

データベース化とアクセス手段の多様化を進めることで必要情報取得の所要時間を短縮する



④ 労働環境の変革

「職場内」の業務を、「職場外」でもできる労働環境へと変革し、新たな働き方を創造する

③ 現場のデジタル化

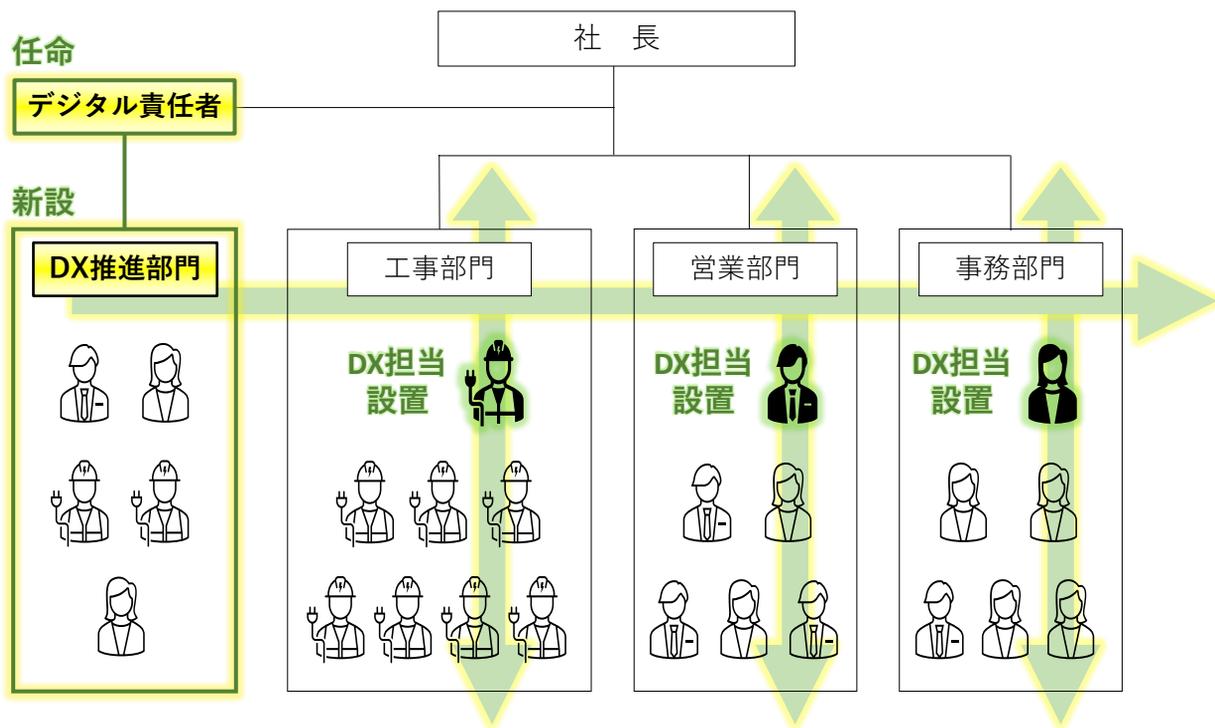
デジタル化とデータベースへのアクセス多様化を最大活用し、工事現場での業務時間を大幅に削減する

土台作り:人材育成 DXスパイラルを支えるデジタル人材育成に注力する

実行するDX施策

目指す方向性	実行施策	達成度指標
現場作業の省力化 (安全性の向上)	<ul style="list-style-type: none">・タブレット端末の技術系全社員配付・遠隔操作機器の導入と配備	<ul style="list-style-type: none">・現場管理ソフト利用率 100%・遠隔操作機器による工数低減率
データベース化	<ul style="list-style-type: none">・DB構築による過去施工データ活用・工事管理ソフト導入・クラウドDBアクセスツール多面化	<ul style="list-style-type: none">・データ活用による工数の低減・案件ごとのソフト利用率100%・移動時間の削減 50%減
環境への貢献	<ul style="list-style-type: none">・書面業務のデジタル化・電子契約システム導入	<ul style="list-style-type: none">・紙面書類の使用量：50%削減
労働環境の変革	<ul style="list-style-type: none">・バックオフィスの効率化	<ul style="list-style-type: none">・リモートワーク勤務日数
事業を支えるIT領域の スペシャリスト人材	<ul style="list-style-type: none">・人材への予算確保・新規採用の強化・既存社員の育成	(2028年度目標) 社内育成：2名 新規採用：2名 ITパスポート試験合格：4名

DX推進体制



- ・ DX専門組織の新設と各部門内担当設置によるタテヨコ推進体制
- ・ DX推進会議の設定（目的：DX推進計画の全体進捗管理 4回/年）

DX推進ロードマップ

	2024	2025	2026	2027	2028
作業省力化DX 安全DX	ドローン 導入検討 実機検証 (トライ)	実機配備	対応拡大		
データベース化 DX	工事管理 ソフト導入 タブレット配付	クラウドDB 充実化	DBアクセス多面化		
環境DX	書類デジタル化（ペーパー管理からデータ管理へ移行）	タブレット活用			
労働環境DX	バックオフィスのリモート化	電子契約システム化推進			
デジタル人材 育成/採用	育成プログラム	IT人材新規採用			